

はあもにいの取り組み

熊本市男女共同参画センターはあもにいでは、震災後に発生するDVや性被害を防ぐため、啓発チラシを作成して各避難所に配布したり、みんなが快適に過ごせるよう、いろいろな取り組みが行われました。女性や子どもが必要とする支援物資も集めて届けられました。

はあもにいが拠点避難所となってからは、女性単身者と女性の世帯のみのフロアが作られ、対応を女性スタッフがを行い、男性は極力居住スペースに入らなかつたりといった配慮がなされていきました。



女性総合相談室 「被災地訪問相談事業」



女性総合相談室では、地震の被害の大きい市町村の避難所や仮設住宅集会所等を女性総合相談員が訪問し、「おしゃべり会」を開いています。

女性は家族の世話を優先し、自分のケアがあとまわしになるケースが多く、地震のストレスを受けがちです。アロマハンドマッサージや「つぼトントン」で心とからだをリラックス、美味しいお茶やコーヒーを飲みながらホッと一息ついていただき、地震で溜まったストレスや悩み事について一緒に考えていきます。

ご希望があれば、おしゃべり会の前後に個別相談を受けることもできます。女性の方ならどなたでもご参加いただけますのでお気軽においでください。

時には立ち止まって、ひと呼吸しましょう。

参加申込・お問い合わせは

くまもと県民交流館 女性総合相談室

TEL 096-355-2223(話中の場合は355-1187)

熊本市中央区手取本町8-9テリアくまもと9階(鶴屋東館の上にあります)

- 電話相談 月・木～土(9:00～16:00)、水(9:00～20:00)
- 面接相談(要予約) 月・水～土(9:00～16:00)
- 法律相談(要予約・女性限定) 毎月第3木曜日(13:00～16:00)

せんだいがんごのホール

「常に次の災害の前を生きている」これが私たちの実感です。でも、この5年半、どれだけそれを伝えられたかー。

熊本で地震が起きた時、「まさかー!」どんなにか怖いだろうと3・11後の地に足がつかない気持ち、ずっと続く余震の中、「一日いちごち」と言い聞かせて送った日々を思い出しました。

「太刀打ちできない自然の力にさらされ、無力感を感じているのではないか」「普段からケア役割を引き受けている女性たちは頑張りすぎていないか」「甚大な被害地域から離れた場所の女性たちは、自分にはできることが無いと思いつんでいのではないか」「一人ひとり違う、こころの回復。それぞれのペースで、自分を大切に、日常を取り戻してほしいと思います。」

周りを気にかけて、できることをしようと動く女性たちは、地域の支え手でありながら、当たり前過ぎて見えにくいこともあります。彼女たちが声を出すことが、誰もが参画できる地域につながり、よりよい復興に向かっていく。さらに、減災のまちづくりへの取り組みにつながる。これも、あの震災を経た私たちが確信していることです。

女性たちが情報や仲間と出会い、つながる場として大きな役割を果たす「男女共同参画センター」。これからも被災地のセンター同士協力し、被災した方々へ復興への歩みを後押ししていきますよ。

公益財団法人
せんだい男女共同参画財団
スタッフ



パレアの由来
「パレア」は「つきあい、交際、仲間」を意味するギリシャ語で、心の交流があり、誰もが仲良く利用できる施設をイメージしたネーミングです。

一度アクセスしてみてください <http://www.danjyo.pref.kumamoto.jp/> **ならんで**

発行 熊本県男女共同参画センター

TEL 096-355-1187 FAX 096-355-4317

E-mail danjocenter@pref.kumamoto.lg.jp

URL <http://www.danjyo.pref.kumamoto.jp/>

〒860-8554 熊本市中央区手取本町8-9

くまもと県民交流館/パレア内 (Vol.39 平成28年10月発行)

熊本県環境生活部 県民生活局 男女参画・協働推進課

TEL 096-333-2287 FAX 096-387-3940

E-mail: danjokyoudou@pref.kumamoto.lg.jp

〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

発行者:熊本県
所属:くまもと県民交流館
発行年度:平成28年度

この用紙は再生紙を使用しています。